

# はくぶつかんネット第52号 平成27年1月～3月号

地域連携展「ぎのわんの<sup>あざ</sup>“字”展」

# 嘉数

毎年、宜野湾市内の1つの字を取り上げて紹介する地域連携展「ぎのわんの“字”展」。第8回目となる今回は、「嘉数区」にスポットをあてました。企画展では、嘉数の歴史を紹介するとともに、発掘された遺物や嘉数区の人びとが使用していた民具、綱引きに関する映像などを展示しました。他にも自治会の活動写真なども展示し、来館されたみなさんからは「懐かしいね」「こういう道具もあったんだね」という声が聞かれました。

～根立て杜ぐすく なよくら てづきし字～



## 嘉数ってどんなところ？



方言で「カカジ」と呼ばれる嘉数は、1623年に編さんされた『おもろさうし』にも登場する古い歴史を持つ地域です。集落の北側に流れる比屋良川（ヒヤーガーラ）と、南側に流れる牧港川（マーヒガーラ）にはさまれた石灰岩台地で、ガマ（洞穴）が多く存在しています。

沖縄戦の激戦地として知られる嘉数ですが、地域には遺跡やカー（泉）、拝所などが数多く残っています。



## Opening ceremony

伊波健自治会長のあいさつ



嘉数は、テラガマや小祿墓など、多くの遺跡が残る歴史の古い地域です。この字展は、嘉数の歴史や生業、生活をみなさんに知ってもらう良い機会だと考えています。展示を多くの方々に観覧していただき、ご自分の地域を見直すきっかけになればと思います。



## 嘉数のみどころを紹介!

### ウィーヌヤマ(上ヌ山)

現在、嘉数高台公園となっているウィーヌヤマは、嘉数集落でも重要な聖地とされています。その呼び名も、1623年の『おもしろさうし』では「かゞもりぐすく」、1713年の『琉球国由来記』では「スズナリノ嶽」など、時代によって様々な記録が残されています。伝えによれば、かつて丘陵の上部には石垣が張り巡らされていましたが、首里城が築かれる際に、一帯の住民が石垣の石を首里まで持ち寄ったと言われていす。しかし、現在その石垣は確認されてはいません。



### 村獅子



嘉数集落の北西方向、シーサーモーにある石製の村獅子です。

以前のシーサーは戦災で失われたため、美里村知花(当時)で陶器製のシーサーを購入して安置しました。その後、2001年に大きな獅子像を作成し、現在はその2体が安置されています。戦前は、現在安置されている場所より10~20mほど奥にあったといわれています。

### ウシヌクスーピラ



集落の南東側から真栄原方面へ至る坂道(ピラ)のことです。名前の由来は、坂がきつく牛が糞をしながらのぼったためにウシヌクスーピラという説と、周囲の地形が牛のクブ(瘤)のように見えるためウシヌクブーピラだという説があります。

現在は、戦前の奉仕作業や戦後の道路改修で、以前と比べて道幅も広くなり、傾斜も緩やかになりました。

### アガリガー



嘉数集落の南東側にある村泉(共同湧泉)です。

子どもが産まれるとウブミジ(産水)を汲んだり、正月にはワカミジ(若水)を汲んでいました。汚れた物、子供のおしめなどは洗ってはいけなとされ、掃除も輪番制で行われました。また、アガリガーは集落の拝所でもあり、ほかの地域からも拝む人が来たといわれています。

### ◆ヌンチャクを持つ嘉数の人びと?!

嘉数の人びとは、嘉数集落の北西方向にあった大謝名の港田原でカモを捕獲していました。しかし、カモを持ち帰る際に横取りするフェーレー(強盗)が出たので、首里王府からヌンチャク(武器の一種)の使用を許可されていました。

そのこともあり、首里からの帰り道に嘉数まで来ると、安心したという意味で“イチムルイカカジ(行き戻り嘉数)”と呼ばれていました。



### ◆花売り

戦後、嘉数出身のハワイ帰りの方で花栽培の経験者があり、嘉数で花の栽培が盛んになりました。女性たちは、大謝名や現在の嘉数ハイツ方面にあった米軍の部隊へ行き、花を売っていました。特にPAY DAY(軍人の給料日)には、「タバコチェンジ」と言って、代金の代わりに煙草をもらっていたといわれています。ほかにもコンビーフやハムなど、様々な物品と交換をしました。

花売りをしていると、次第に軍人と仲良くなり、売れ残った花束を全て買ってくれる軍人もいたそうです。

当時は、「花と言えば嘉数」というほど、とても有名でした。



平成26年度

# 博物館市民講座



宜野湾市立博物館では、毎月1回(6月~2月、全9回)、の宜野湾市の考古、歴史、民俗、自然等について、多彩な講師を招いて市民講座を開催しています。

今年度の市民講座も、市内外を問わず多くの方々にご参加いただきました。各講座をご受講くださった皆様、ご講話いただいた講師の皆様、誠にありがとうございました。来年度もより良い市民講座を目指して計画中です。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

## 6月「宜野湾市の戦跡を巡り、語る。」

野外講座!

講師：平敷 兼哉(宜野湾市立博物館学芸係長)



慰霊の日企画展の関連講座で、宜野湾市内の戦跡を徒歩で巡りました。私たちが住む身近な地域から、沖縄戦、そして戦争と平和について考える良い機会となりました。

## 7月「家譜の話」

講師：田名 真之(沖縄国際大学教授)



家譜の成り立ちとその構成について解説していただきました。家譜から見える近世沖縄について学び、琉球王府時代の家譜は、貴重な歴史資料であることが分かりました。

## 8月「宜野湾の“台地”を巡る」

野外講座!

講師：大城 逸朗(おきなわ石の会会長)



夏の企画展の関連講座で、宜野湾市の地質や地形の特徴を学びました。実際に湧き水を訪れることで、その仕組みや活用法への理解をより深めることができました。

## 9月「宜野湾のおもろ」

講師：波照間 永吉(沖縄県立芸術大学教授)



今もなお、解明されていない謎が多く残る沖縄最古の歌謡集『おもろさうし』。その概略と、宜野湾に関する“おもろ”について、お話していただきました。

## 10月「グスクめぐり」

野外講座!

講師：知念 勇(前宜野湾市立博物館館長)



今回の野外講座では、知念グスクや玉城グスク、糸数グスクなどの南部のグスクを巡りました。石垣や城門の様式から地域の歴史文化が窺え、充実した講座になりました。

## 11月「宜野湾の伝統芸能」

講師：比嘉 悦子(宜野湾市立博物館館長)



秋の企画展の関連講座です。貴重な映像も交えながら、ムラアシビ、獅子舞、フェヌシマ(南又島)、エイサーなど各地域に伝わる伝統芸能について解説していただきました。

## 12月「山田真山—その人物と作品—」

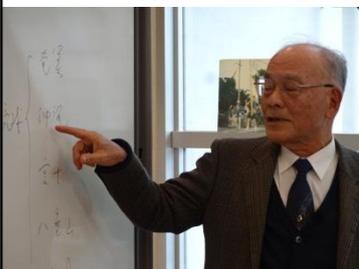
講師：小林 純子(沖縄県立芸術大学教授)



沖縄県出身の芸術家である山田真山。その人物像と作品について解説していただきました。後半には、平和祈念像の制作現場でもある普天間のアトリエを見学しました。

## 1月「宜野湾のしまくとうば」

講師：野原 三義(沖縄国際大学名誉教授)



身体語彙を中心とした“しまくとうば”について、お話していただきました。ひとくちに琉球方言と言っても、地域によって表現が異なるのは大変興味深い内容でした。

## 2月「めぐてい! イガルーシマー嘉数編—」

野外講座!

講師：平敷 兼哉(宜野湾市立博物館学芸係長)



文化財や歴史的な場所を巡り、地域の魅力を再発見することを目的とした講座です。今年は嘉数区を巡見し、昔と今で変化してきた景色を楽しみ、その歴史を探りました。

# 第15期わらば～体験じゅく



わらば～体験じゅくは、市内の小学生5～6年生30人を対象に、普段触れることの少ない自然や郷土の歴史・文化について、体験を通して身近に感じ、学んでもらうことを目的とした体験型教室です。講師の先生方に教わり、あるいは友だち同士で協力し合いながら、6月の開校式に始まり2月の修了式まで様々なことを体験してきたわらば～たち。はじめのうちは緊張していても、宿泊学習を体験するころには、他学年や他校のじゅく生ともすっかり仲良くなり、回を追うごとにたくましく成長していったようです。ここでは、そんな第15期わらば～の皆が取り組んだ、毎月の体験じゅくの様子をご紹介します♪

## 6月 開校式、博物館探検・昔の道具体験

講師：博物館職員

開校式では、博物館の先生やわらば～たちの自己紹介を1人ずつ行いました。その後、博物館内の探検や、クエーウーキなど昔の仕事に使用された道具の体験をしました。



## 7月 標本作り

講師：佐々木 健志先生

(琉球大学風樹館学芸員)

チョウの羽をりん粉転写して模様をとったり、セミのぬけがらを使って標本を作りました。また、昆虫観察も楽しめました。



## 8月 田イモの植付け

講師：石川 達義先生(大山田イモ農家)

宜野湾市の特産物である田イモの植付けを行いました。泥まみれになりながらの畑作業に最初は戸惑っていましたが、慣れてくると大変ながらも楽しい体験になりました。



## 9月 宿泊学習(野外の観察)

講師：玉城青少年の家職員、博物館職員

沖縄県立玉城青少年の家にて、1泊2日の宿泊学習を行いました。テント泊や自炊、史跡巡りなどを体験しながら、自然とのふれあいや、みんなで協力する大切さを学びました。



## 10月 ウシとふれ合おう!

講師：宮城 邦治先生(沖縄国際大学教授)、牛舎の方々

牛舎の掃除や餌やりなどのウシの世話を体験し、闘牛の練習を見学しました。間近で初めて見る大きなウシに、みんな興味津々でした。



## 11月 村獅子を探そう!

講師：博物館職員

宜野湾市喜友名にある市指定文化財「喜友名の石獅子群」を中心に、ウォークラリー形式で巡りました。ユニークな姿の石獅子それぞれの名前を教わり、問題を解いたりしました。



## 12月 しめ縄作り

講師：城間 健二先生(普天間小学校校長)

稲ワラを使って、お正月用のしめ縄作りに挑戦しました。1人では作れないので、友だち同士で協力しながら、お家に飾れるような立派なしめ縄を目指して取り組みました。



## 1月 田イモの収穫

講師：宮城 徳康先生(大山田イモ農家)

8月に行った「田イモの植付け」と関連して、今回は、田イモの収穫体験をしました。たくさんのおいしい田イモが収穫され、最後には、おいしい田イモ料理の試食会もありました。



## 2月 昔のおもちゃ作り、修了式

講師：松本 真清先生、屋嘉比 康勝先生、博物館職員

最終回は、竹とんぼ作りに挑戦しました。なかなか難しかったですが、みんな夢中で作りました。修了式では、修了証書の授与を行いました。



# わらば～体験じゅくの感想

## ▲ 宿泊学習

- ・テントをたてたり、片付けたりするのが大変でした。野外炊飯は、初めてやったのでとても楽しかったです。(当間 香月さん)
- ・ナイトウォークラリーはとても怖くて問題が探せないと思ったけど、ちゃんと見つけられました。あと、自分たちでカレーを作るのが楽しかったです。(喜瀬 鈴南さん)

## ● しめ縄作り

- ・思った以上に難しく、わらをきれいにすることからやったので、面倒くさかったけど、上手にできたので良かったです。(上原 妃華さん)
- ・とても難しく、3人も人をつかうことがとてもびっくりした。来年は、自分で作りたいと思います。(伊佐 優花さん)

## T 昔のおもちゃ作り

- ・最初の工程で3回くらい失敗したので、とっても疲れた。(泊 武瑠さん)
- ・竹とんぼの作り方が分かった。(濱里 航大さん)
- ・竹とんぼをうまく飛ばせたので嬉しかった。(安谷屋 遼馬さん)

## 🐾 ウシとふれ合おう!

- ・こんなに大変な掃除などを行っているのはすごいと思いました。そして、(ウシの) たたかう姿がカッコよくて、こんなに強いのは働いている人のおかげかな、と思いました。(普天間 佳菜さん)
- ・散歩では、ウシに巻かれた縄をひっぱるなどの体験ができたので良かったです。そして、ウシがエサをおいしそうに食べてくれたので、とてもうれしかったです。(北島 万納さん)

## 🌱 田イモの収穫

- ・田イモの収穫はなかなか難しいもので、ひとつとるだけで喜ぶほどでした。田イモ美味です!! (新垣 大喜さん)
- ・田イモを収穫するのは意外に楽しくて、少し重労働だったけど、田イモがとれたらうれしかったし、楽しかったです。(花城 朝飛さん)

## Y 田イモの植付け

- ・田イモを植付けたら、泥から抜けなくなるかもしれないのが怖かったけど、楽しかった。カニやテレビアがとれたのが嬉しかった。(石川 恵美さん)
- ・田んぼは、元々海だったということが初めて分かった。あと、植付けるとき歩いたら、足が沈んでいくからビックリした。(比嘉 芽吹さん)

## 🦁 村獅子を探そう!

- ・喜友名区のシーサーなどの文化財を見つけることができ良かった。(石川 智清さん)
- ・モアイ像みたいなシーサーや、顔の原型が分からなくなっているシーサーがいて、こんなシーサーもいるんだな、と思った。(伊佐 勇人さん)
- ・シーサーの知らないことが分かった。(渡嘉敷 翼空さん)



最後に、みんなで修了証書を持って記念写真をパチリ☆

1年間、よく頑張りました!!

### 第16期じゅく生募集のお知らせ♪

わらば～体験じゅくは、毎年5月中旬からじゅく生の募集を行います。来年度も、みなさまのご参加をお待ちしております!



宜野湾市立博物館開館15周年記念企画展

# 山田真山 —描いた世界・育まれた環境—



山田真山 (1885~1977年)

宜野湾市立博物館では、開館15周年を記念して「山田真山 —描いた世界・育まれた環境—」を開催しました。開催期間は11日間と、通常の企画展よりも短いものでしたが、700名を超える方にご来館いただき、大変嬉しく思います。

企画展では、宜野湾市の偉人の一人でもある山田真山の作品を紹介するとともに、その人柄や活動について紹介しました。絵画や彫刻の他にも、作品制作に使用した小道具や着用していた衣服、落款、写真なども展示しました。展示会には、真山ファンの他にも、生前関わりのあった地域の方々も訪れ、作品を前に懐かしい思い出を語り合っていました。展示室に入ると、時間も忘れて作品に見入ってしまう方が多く、みなさんじっくりと時間をかけて見学されていました。



すごい迫力だね~!!

## アトリエを特別開放!!

企画展の関連講座として、市民講座「山田真山について—その人物と作品—」(平成27年12月21日)を開催しました。講座では、沖縄県立芸術大学の小林順子教授をお招きし、山田真山の人物像と日本・沖縄の近代美術史における功績についてお話をしていただきました。

さらに、講座の後半では、平和祈念像の原型が残る普天間のアトリエを特別に見学できるということで、多くの山田真山ファンや地域の方々が集まりました。アトリエに入ると、参加者の多くが、平和祈念像原型の迫力に驚きの声を上げていました。また、アトリエ内では沖縄協会事務局長の金嶺恵友さんによる解説もあり、みなさん解説に聞き入りながら、祈念像へ熱い眼差しを向けていました。

**本企画展、市民講座にご協力いただきました**

**ご家族、個人、各機関の皆さまに心より感謝申し上げます。**



堆錦を引き延ばすための機械も残っていました!!

## 博物館常設展示室

# リニューアル計画!!



宜野湾市立博物館は、今年度、開館して15周年を迎えました。開館以降、研究成果により学説が変わった内容や、新たに発見された資料もできました。そのため、博物館の展示内容を最新の研究成果に合わせて、さらに充実させていこうと考えています。

そこで、現在の常設展示室について、みなさまからのご意見を募集しています。「イラストを増やして分りやすくしてほしい」「今の展示を少しアレンジするだけで面白くなりそうだ」「〇〇についてもっと展示を充実させてほしい」など、みなさんのご意見をお待ちしています。

☆博物館に設置しています「博物館リニューアルアンケート」にお答えいただくと、博物館イメージキャラクターの天女ちゃんや、宜野湾の昔懐かしい風景のポストカードをプレゼントいたします。



## 団体見学のご案内



宜野湾市立博物館では、昔の道具に実際に触れながら学べる「昔の道具体験」や、見学される方の要望に合わせた「展示の解説」を行っています。

「昔の道具体験」に参加した子どもたちからはよく「これは何?」「どうしてこんな形をしているの?」など、好奇心に溢れた声があがっています。また、懐かしい道具を前に、昔話に花を咲かせているデイサービスの方々もよく見かけます。

子どもから大人まで、道具を見て、触れて、話を聞いて、五感をフル活用させて楽しめる内容となっています。



### ★ここに注意★

- ①「展示解説」は予約が必要となります。解説を希望するみなさんは、見学希望日の2週間前までに博物館へご連絡ください。
- ②学校の社会科見学の場合は事前の打ち合わせが必要となりますので、1ヶ月前までにはご連絡ください。

企画展示の案内も行っています♪



## ～26年度を振り返って～



館長：比嘉 悦子

宜野湾市立博物館は平成11(1999)年6月1日に開館しました。平成26(2014)年度は開館15年目にあたり、記念の特別展として「山田真山―描いた世界・育まれた環境―」展(12/10～12/21)を開催しました。山田真山(1885～1977)は、明治から昭和にかけて活躍した日本画家・彫刻家で、戦後は宜野湾市に居を構え、晩年は平和祈念像の作製に身を投じられた方です。二週間足らずの展示会に725人の来場者があり、山田真山の優れた彫刻、絵画作品に感嘆の声が聞かれました。

その他、慰霊の日の特別展「イクサユージュのーん」(6/18～7/13)、夏の企画展「宜野湾の台地」(7/30～9/14)、秋の企画展「宜野湾のムラアシビ」(10/29～11/30)、「ぎのわんの“字”展(嘉数編)」なども盛況でした。

教育普及事業としての市民講座と「わらば一体験じゅく」もそれぞれ9回開催し、小学校の団体見学、出前講座も好評で、団体見学は市外からの希望者が増えました。

今年度から常設展示室のリニューアルの検討も始まりました。今後とも皆さまからのご助言をいただき、市立博物館をより質の高い博物館へ発展させていきたいと考えています。かわらぬご支援とご協力をお願い致します。



- ◆入館料：無料
- ◆開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始  
(文化の日、慰霊の日は開館します)

※火曜日と祝祭日が重なった場合は翌日の水曜日にも休館になります。



# 宜野湾市立博物館

〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1  
TEL : (098) 870-9317 FAX : (098) 870-9316  
<http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

ホームページも check !

宜野湾市立博物館

検索

土器パズルなど、体験型のコーナーもあるよ！みんな遊びに来てね♪



26年度は、市内外を問わず、多くの皆様に当博物館をご利用いただき、ありがとうございました。27年度も、宜野湾市立博物館をどうぞよろしく願いいたします。

